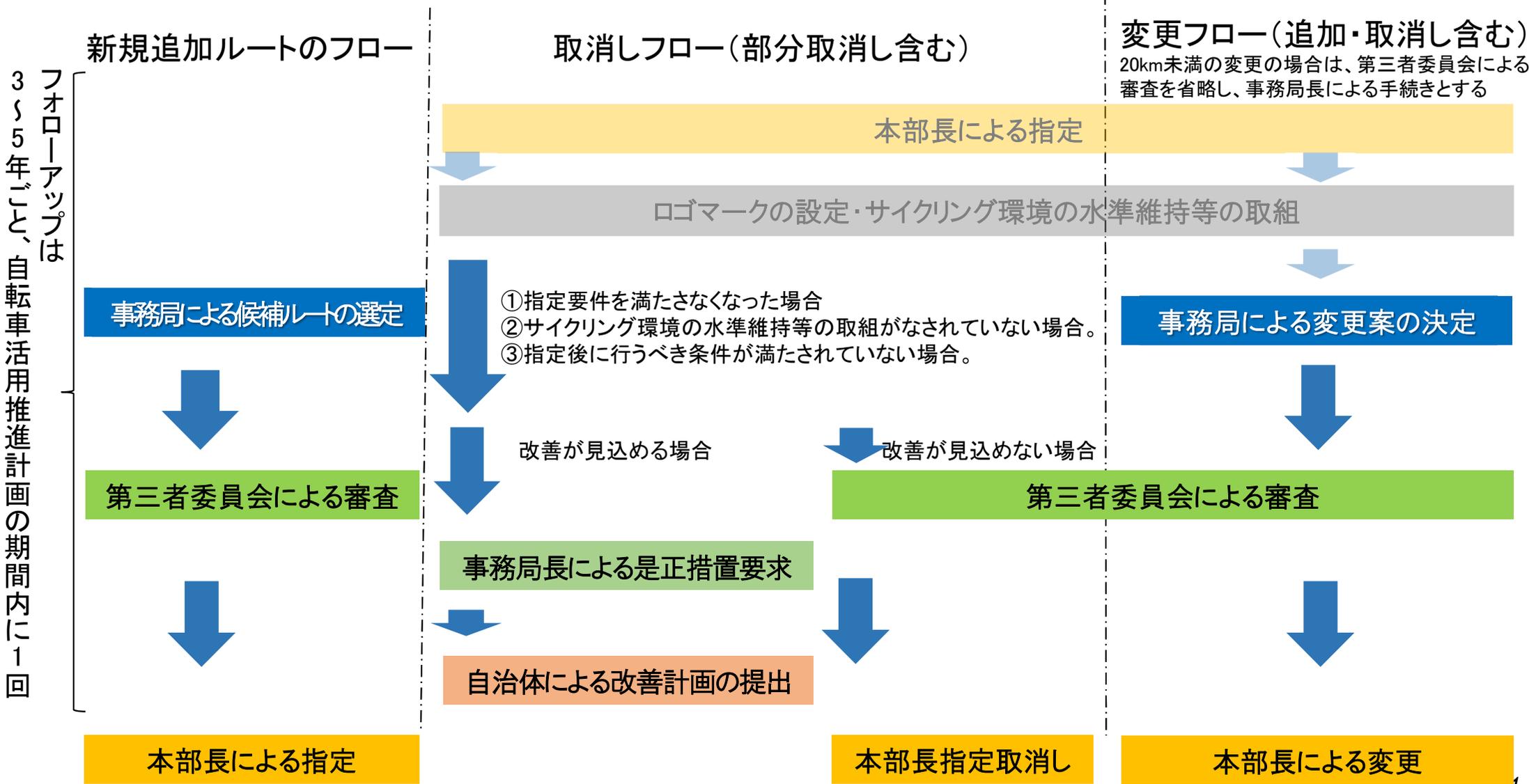


既存ルート of 取組状況



ナショナルサイクルルート・フォローアップの手続き

- ルートにおける取組の継続性を評価する必要があることから、指定されたナショナルサイクルルート¹の状況確認、新規追加ルート²の有無の確認などのフォローアップは、計画期間内に1回とし、3～5年ごとに実施する。
- ナショナルサイクルルートが指定要件を満たさなくなった場合などは、指定を取り消す。
- ナショナルサイクルルート³の取消し・変更（軽微なものを除く）に当たっては、指定と同様の手続きを経るものとする。



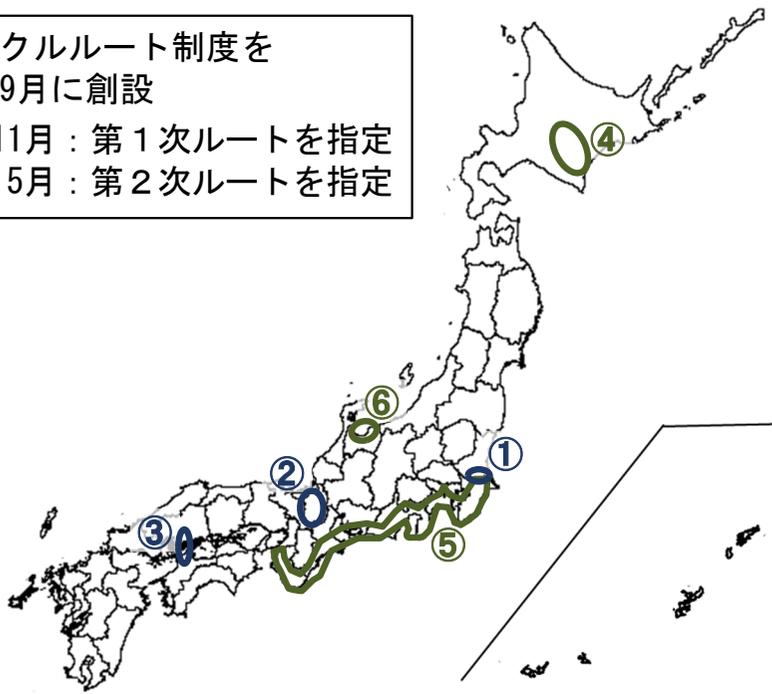


① つくば霞ヶ浦りんりんロード 第1次

JR岩瀬駅～JR土浦駅間及び霞ヶ浦湖岸一周
(茨城県)
延長：176km

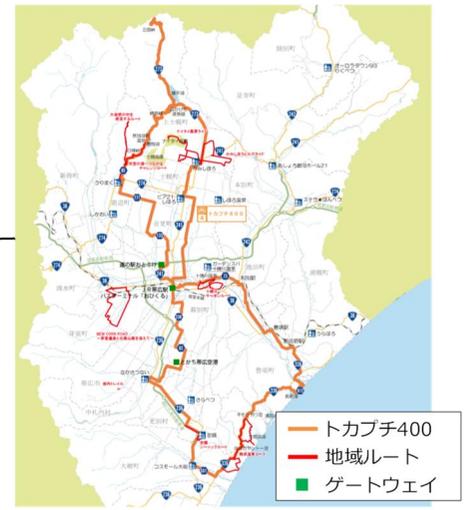


- ナショナルサイクルルート制度を令和元(2019)年9月に創設
- 令和元(2019)年11月：第1次ルートを指定
- 令和3(2021)年5月：第2次ルートを指定



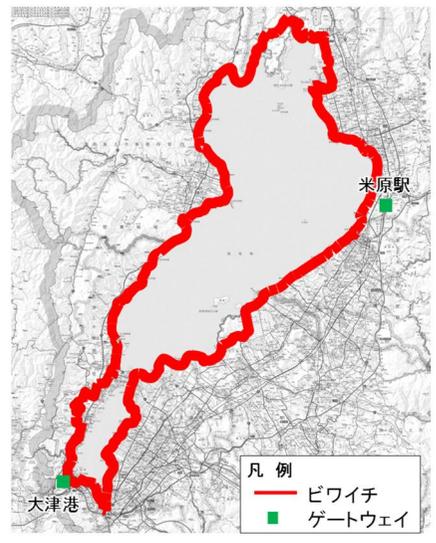
④ トカプテ400 第2次

帯広市を起終点とし上士幌町から大樹町までを8の字で結んだルート(北海道)
延長：403km



② ビワイチ 第1次

琵琶湖岸一周(滋賀県)
延長：196km



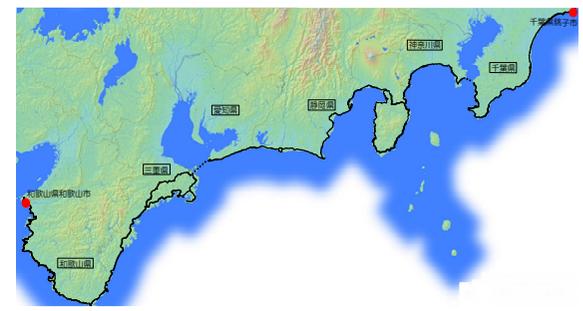
③ しまなみ海道サイクリングロード 第1次

JR尾道駅(広島県)～サンライズ糸山(愛媛県)
延長：70km



⑤ 太平洋岸自転車道 第2次

銚子駅(千葉県)～加太港(和歌山県)
延長：1,487km



⑥ 富山湾岸サイクリングコース 第2次

氷見市～朝日町(富山県)
延長：102km



既存ルート of 取組状況の概要①



名称		つくば霞ヶ浦 りんりんロード	ビワイチ	しまなみ海道 サイクリングロード	トカプチ400	富山湾岸 サイクリングコース	
ロゴマーク							
指定年月日		令和元年11月7日			令和3年5月31日		
都道府県		茨城県	滋賀県	広島県、愛媛県	北海道	富山県	
延長		176km	196km	70km	403km	102km	
サイクリング環境の整備	走行環境	通行空間	100%	100%	100%	98%	85%
		案内表示	10割	10割	10割	10割	10割
		案内看板	10割	10割	10割	10割	10割
	受入環境	ゲートウェイ	サイクルパークつくば等、 3箇所	米原駅サイクルステーション等、 2箇所	尾道駅等、 3箇所	JR帯広駅等、 3箇所	ひみ番屋街、 1箇所
		ステーション	537箇所	243箇所	231箇所	23箇所	10箇所
		宿泊施設	35箇所	60箇所	64箇所	21箇所	19箇所
年間利用者数(推計)		13.2万人 (R6年度)	11.9万人 (R6年)	33.3万人 (H30年度)	-	2.7万人 (R6年度)	

既存ルート of 取組状況 of 概要②



名称		太平洋岸自転車道						
ロゴマーク								
指定年月日		令和3年5月31日						
都道府県		千葉県	神奈川県	静岡県	愛知県	三重県	和歌山県	
延長 (計1487km)		218km	102km	468km	78km	300km	323km	
サイクリング環境の整備	走行環境	通行空間	74%	65%	73%	97%	87%	78%
		案内表示	10割	10割	10割	10割	10割	10割
		案内看板	10割	10割	10割	10割	10割	10割
	受入環境	ゲートウェイ	銚子駅等、 6箇所	横須賀港等、 5箇所	伊豆高原駅等、 4箇所	道の駅とよはし、 1箇所	鳥羽駅・鳥羽1番街、 1箇所	南紀白浜空港等、 2箇所
		ステーション	21箇所	9箇所	30箇所	4箇所	20箇所	46箇所
		宿泊施設	32箇所	1箇所	33箇所	7箇所	59箇所	34箇所
年間利用者数(推計)		-						

改善方針の進捗状況(つくば霞ヶ浦りんりんロード)



#	観点	評価項目	指定時(R1.10)	前回フォローアップ(R3.2)		今回フォローアップ(R8.3)		
			今後の改善方針	区分	進捗状況	区分	進捗状況	
◎	1	ルート設定	ルートの安全性	交通量1万台以上の都市部の車道混在区間について令和元年度に自転車ネットワーク計画に位置付ける 交通量が多い区間についてマップ等で注意喚起を行う	△	都市部の区間について自転車ネットワーク計画に位置付け済 交通量が多い区間についてマップで注意喚起予定	△	交通量の多い区間についてマップに掲載済 注意喚起の案内表示について令和8年度内に設置完了予定
◎	2	走行環境	走行環境の安全性	都市部の区間(5km)について令和2年度までに自転車ネットワーク計画に位置付ける	○	自転車ネットワーク計画に位置付け済		
◎	3			郊外部の区間(17.1km)について令和2年度を目途に整備する	△	令和2年度内に完了予定	○	令和6年度に整備完了
	4			矢羽根等に加えて情報板等によりドライバーに対してサイクリングルートの注意喚起を行う	×	令和2年度内に着手予定	○	令和6年度に路面表示を設置完了
◎	5			注意喚起のない狭小幅員の橋梁(3箇所)、急勾配箇所(2箇所)について令和2年度までに看板または路面表示を設置する	×	令和2年度内に着手予定	△	令和8年度内に設置完了予定
	6			自転車保険への加入等を周知する	○	ゲートウェイやレンタサイクル貸出拠点、HP、SNS等で啓発を実施		
	7		快適性	一時停止の解消に努める	×	一時停止の更なる解消に向けて関係機関協議中	×	関係機関協議中
	8		維持管理水準	ルートの管理基準について令和元年度中に設定する	△	管理基準設定に向けて調整中	○	令和4年度に管理基準、維持管理体制を設定済
◎	9		ルートの案内	案内路面表示について令和2年度までに設置間隔が概ね5kmを超える区間(霞ヶ浦区間)と未設置区間(つくば・潮来区間)に設置する	×	令和2年度内に着手予定	○	令和7年度に設置完了
◎	10			案内看板について令和元年度までに未設置の単路部(潮来区間)に設置する 令和2年度までに未設置の単路部(つくば区間)と分岐部(21箇所)に設置する	×	令和2年度内に着手予定	○	令和7年度に設置完了
	11			起点までの距離案内について令和2年度までに未設置区間(霞ヶ浦・潮来区間)に概ね5kmごとに設置する	×	令和2年度内に着手予定	○	令和7年度に設置完了
	12			主要目的地までの距離案内について令和2年度までに設置する	×	令和2年度内に着手予定	○	令和7年度に設置完了
	13			ゲートウェイ等の案内について令和2年度までに必要な分岐部全箇所と単路部概ね5kmごとに設置する	×	令和2年度内に着手予定	○	令和7年度に設置完了
◎	13			ナショナルサイクルルートのロゴマークについて令和元年度中に起終点と主な分岐部に設置する 令和2年度までに残る単路部と分岐部に設置する	×	令和2年度内に着手予定	○	令和7年度に設置完了
	14	受入環境	ゲートウェイの整備	2箇所のゲートウェイ(りんりんスクエア土浦・りんりんポート土浦)の推奨機能の整備や新たなゲートウェイの設置に取り組む	△	新たなゲートウェイの設置について関係者と協議中	△	令和5年度に新たなゲートウェイ「サイクルパークつくば」を設置 推奨機能の整備について関係者と連携して取り組む
	15			りんりんスクエア土浦からのアクセスルートについて令和2年度までに自転車ネットワーク計画に位置付ける	○	自転車ネットワーク計画に位置付け済		
	16		サイクルステーションの整備	サイクルステーションの設置間隔が20kmを超える区間について概ね20km間隔となるよう整備する(最大間隔32km) サイクルステーションにおいて推奨機能を整備する	△	サイクルステーションについて整備中(最大間隔24km) 推奨機能について機能整備を進めている	△	サイクルステーションの間隔を改善(最大間隔12km) 推奨機能の整備について関係者と連携して取り組む
	17		迂回のための代替交通手段	「霞ヶ浦広域サイクルーズ」に加えて迂回のための代替交通手段の充実に向けて取り組む	○	霞ヶ浦広域サイクルーズの寄港先の増設やサイクリートレイン(B.B.BASE)等を運行		
	18			迂回のための代替交通手段について専用サイトを設けて情報提供する	△	公式ホームページやSNS等で情報を提供	○	公式ホームページの専用サイトで情報を提供
	19		回送としての代替交通手段	「霞ヶ浦広域サイクルーズ」に加えて自転車回送サービスの充実に向けて取り組む	○	霞ヶ浦広域サイクルーズの寄港先の増設やサイクリートレイン(B.B.BASE)等を運行		
	20			自転車回送サービスについて専用サイトを設けて情報提供する	△	公式ホームページやSNS等で情報を提供	○	公式ホームページの専用サイトで情報を提供
	21		宿泊施設	宿泊施設において推奨機能を整備する サイクリスト向け宿泊施設を拡大する	△	サイクリストにやさしい宿の認定制度を設け募集を実施(11箇所→25箇所)	△	推奨機能の整備について関係者と連携して取り組む
	22		ガイドツアーの実施	ガイドツアーの通年での実施に向けて取り組む	△	旅行会社と連携しツアー造成窓口を開設	○	令和7年度にインバウンドツアー(台湾、シンガポール)を実施
	23		修理サービス	修理サービスについて専用サイトを設けて情報提供する	○	公式ホームページで情報を提供		
	24		トラブル時の搬送サービス	トラブル時の搬送サービスについて専用サイトを設けて情報提供する	○	公式ホームページで情報を提供		
	25		緊急時連絡サポート	サポート施設のサービス内容を情報提供する 情報提供するサポート施設を拡充する	○	公式ホームページで情報を提供		
	26		緊急支援物品	緊急支援物品が整備されているサイクルステーションの間隔が20kmを超える区間について概ね20kmの間隔となるよう整備する(最大間隔54km)	×	地元関係者等に働きかけている	×	地元関係者等に働きかけている
	27	情報発信	情報発信	搬送サービス、修理サービスなど、公式ホームページの情報発信を充実する	○	公式ホームページに搬送サービスを掲載する等情報発信を充実		
	28			ホームページで外国語での情報発信を充実する	○	日英に加え繁体字での情報を発信		
	29		ルートマップ	マップの増刷時に水濡れに強い仕様にする	○	水濡れに強い仕様としている		
	30		ルートのPR	国内外へのPRを展開する	○	海外向けオンラインツアー等でPRを実施		
◎	31	取組体制	取組体制	協議会を定期的に開催する	○	定期的に開催		
◎	32		地方版計画への位置づけ	令和元年度中に自転車活用推進計画に具体的に位置付ける	○	位置付け済		

◎は必須要件の達成に向けた改善方針

改善方針の進捗状況(ビワイチ)



#	観点	評価項目	指定時(R1.10)	前回フォローアップ(R3.2)	今回フォローアップ(R8.3)
			今後の改善方針	区分 進捗状況	区分 進捗状況
◎	ルート設定	ルートの安全性	交通量1万台以上の都市部の車道混在区間について令和元年度に自転車ネットワーク計画に位置付ける	○ 都市部の区間について自転車ネットワーク計画に位置付け済	
			交通量が多い区間についてマップ等で注意喚起を行う	○ 英語表記による路面表示を設置完了	
			狭小幅員のトンネル(6箇所)について令和元年度にインバウンド対応として英語併記による路面表示を設置する	△ 一部区間では看板・路面表示を設置完了	○ 令和4年度に看板・路面表示を設置完了
			生活道路について現地・マップ等で速度抑制等の注意喚起を行う	△ マップ・アプリで注意喚起を実施	○ 令和3年度に生活道路を避けたルートを整備完了
		2区間について将来的に別ルートを整備した後、生活道路を避けたルートに変更する	△ 2区間については生活道路を避けたルートを選定し令和4年度までに整備を完了予定		
		子供等への配慮	△ 急勾配箇所(6箇所)について注意喚起を行う	○ 令和2年度に看板を設置完了	
◎	走行環境	走行環境の安全性	都市部の区間(34km)について令和4年度までに一部のルートを変更した上で整備	△ 自転車ネットワーク計画に位置付け済	○ 令和4年度に整備完了
◎			郊外部の区間(159km)について令和4年度までに一部のルートを変更した上で整備	△ 令和4年度までにルートを変更する区間を含め整備	○ 令和4年度に整備完了
◎			注意喚起のない狭小幅員の橋梁(1箇所)と急勾配箇所(6箇所)について令和2年度までに看板または路面表示を設置する	△ 令和2年度に設置完了予定	○ 令和2年度に看板・路面表示を設置完了
			狭小幅員の橋梁については将来的に別ルートを整備した後、当該橋梁を避けたルートに変更する		
			自転車保険への加入等を周知する	○ レンタサイクル施設などで説明を実施	
		快適性	一時停止の解消に努める	△ 令和2年度に1箇所解消	○ 令和3年度に1箇所解消
		危険箇所等の通報システム	ユーザーからの意見聴取について令和2年度までにナビゲーションアプリに機能を追加する	○ アプリに機能追加済	
◎		ルートの案内	案内路面表示について令和2年度までに未設置の分岐部(29箇所)に設置する	△ 令和2年度に設置完了予定	○ 令和2年度に設置完了
			主要目的地までの距離案内について令和2年度までに案内看板を設置する	△ 令和2年度に設置完了予定	○ 令和2年度に設置完了
			観光施設等への案内について令和2年度までに案内看板を設置する	△ 令和2年度に設置完了予定	○ 令和3年度に設置完了
			主要目的地等の英語またはピクトグラムでの案内を充実する	△ 令和2年度に英語やピクトグラム併記の案内設置完了予定	○ 令和2年度に設置完了
◎			ナショナルサイクルルートのロゴマークについて令和元年度中に起終点と主な分岐部に設置する	△ 令和2年度に設置完了予定	○ 令和2年度に設置完了
			令和2年度までに残る単路部と分岐部に設置する		
	受入環境	ゲートウェイの整備	ゲートウェイ(米原駅サイクルステーション)において推奨機能を整備する	△ 託送サービスについて準備を進めている	△ 託送サービスについて調整中
				△ 大津駅ほかのゲートウェイ化について取り組む	△ 必要機能であるレンタサイクルについて返却箇所を増設し拡充
		サイクルステーションの整備	サイクルステーションにおいて推奨機能を整備する	△ 好事例収集や情報提供などで支援をしている	△ 講習会での呼びかけを実施
		迂回のための代替交通手段	迂回のための代替交通手段について専用サイトを設けて情報提供する	○ 公式ホームページで情報を提供	
		回送としての代替交通手段	自転車回送サービスについて専用サイトを設けて情報提供する	○ 公式ホームページで情報を提供	
		宿泊施設	宿泊施設において推奨機能を整備する	△ 好事例収集や情報提供などで支援をしている	△ 推奨機能の整備について取組中
			サイクリスト向け宿泊施設を拡大する		△ 宿泊施設の拡大を実施(12箇所→60箇所)
		緊急時連絡サポート	情報提供するサポート施設の拡充など情報提供を充実する	△ スマホの位置情報を活用したタクシーの連絡先表示サービスを令和2年度に開始予定	○ スマホの位置情報を活用したタクシーの連絡先表示サービスを令和2年度に開始
	情報発信	情報発信	公式ホームページに情報を集約する	△ 公式ホームページにビワイチの文言をわかりやすく掲載	○ 公式ホームページに情報を集約済
			発信する情報を充実する	○ アプリにインバウンド向け機能を追加	
			ホームページで外国語での情報発信を充実する	○ 準備を進めている	○ 海外の展示会等でPRを実施
		ルートのPR	国内外へのPRを展開する	○ 定期的開催	
◎	取組体制	取組体制	協議会を定期的に開催する	○ 位置付け済	
◎		地方版計画への位置づけ	令和元年度中に自転車活用推進計画に具体的に位置付ける		

改善方針の進捗状況(しまなみ海道サイクリングロード)



#	観点	評価項目	指定時(R1.10)	前回フォローアップ(R3.2)		今回フォローアップ(R8.3)		
			今後の改善方針	区分	進捗状況	区分	進捗状況	
1	ルート設定	子供等への配慮	急勾配が連続する区間(15区間)について現地・マップ等で注意喚起を行う	△	令和2年度末までに12箇所で看板を設置予定 令和3年度中に1箇所で看板を設置予定 マップ増刷時に注意喚起を追加する	○	令和3年度までに看板を設置完了 マップで注意喚起を実施	
◎	走行環境	走行環境の安全性	都市部の区間(3km)について令和3年度を目途に整備する	△	令和2年度末に完了予定	○	令和2年度に整備完了	
◎			郊外部の区間(67km)について令和3年度を目途に整備する	△	令和3年度を目途に整備	○	令和3年度に整備完了	
4			矢羽根等に加えて情報板等によりドライバーに対してサイクリングルートの注意喚起を行う	×	注意喚起の方法や場所を検討する	△	矢羽根等を更新 情報板等について検討する	
◎			注意喚起のない急勾配箇所(13箇所)について令和2年度を目途に看板または路面表示を設置する	△	令和2年度末までに12箇所で看板を設置予定 令和3年度中に1箇所で設置予定	○	令和3年度に看板を設置完了	
◎			自転車保険への加入等を周知する 愛媛県は令和2年4月の義務化条例施行を目指す 広島県は令和2年度中の義務化条例制定を目指す	△	広報啓発活動を展開中 愛媛県は令和2年4月に義務化 広島県は令和3年6月議会の上程に向けて調整中	○	広島県は令和5年4月に義務化	
7			維持管理水準	令和元年度中にルートの管理基準を設定する	○	令和元年度中にパトロール実施要領を策定し、令和2年度から運用		
8			ルートの案内	ゲートウェイ等の案内について令和2年度を目途にその他の分岐部に案内を設置する	○	現地再確認した結果、追加設置が必要な箇所なし		
◎				ナショナルサイクリングルートのロゴマークについて令和元年度中に起終点と主な分岐部に設置する 令和2年度までに残る単路部と分岐部に設置する	△	令和2年度末までに設置完了予定	○	令和2年度に設置完了
10			受入環境	ゲートウェイの整備	3箇所のゲートウェイ(尾道駅・尾道港・今治駅)において推奨機能を整備する	△	今後、施設管理者と協議を行う 今治駅は令和2年7月に機能を完備	○
◎	今治駅からのアクセスルートについて令和3年度を目途に基準に合わせて整備する	△			令和2年度末までに整備完了予定	○	令和2年度までに整備完了	
12	サイクルステーションの整備	サイクルステーションにおいて推奨機能を整備する		△	推奨機能の整備に取組中 サイクルステーションの希望があれば工具セットを貸与	○	貸出工具など推奨機能を拡充	
13	迂回のための代替交通手段	迂回のための代替交通手段について専用サイトを設けて情報提供する		×	情報集約に向けて関係者と協議する	○	公式ホームページに情報を集約済	
14	回送としての代替交通手段	自転車回送サービスについて専用サイトを設けて情報提供する		×	情報集約に向けて関係者と協議する	○	公式ホームページに情報を集約済	
15	宿泊施設	宿泊施設において推奨機能を整備する サイクリスト向け宿泊施設を拡大する		△	推奨機能の整備に取り組んでいる	○	推奨機能を拡充 宿泊施設の拡大を実施(22箇所→64箇所)	
16	修理サービス	修理サービスについて専用サイトを設けて情報提供する		×	情報集約に向けて関係者と協議する	○	公式ホームページに情報を集約済	
17	トラブル時の搬送サービス	トラブル時の搬送サービスについて専用サイトを設けて情報提供する		×	情報集約に向けて関係者と協議する	○	公式ホームページに情報を集約済	
18	緊急時連絡サポート	サポート施設のサービス内容を情報提供する 情報提供するサポート施設を拡充する		○	サービス内容を県・市ホームページで情報提供 サポート施設の拡充に取り組んでいる			
◎	情報発信	情報発信		公式ホームページに情報を集約する 発信する情報を充実する	×	情報集約に向けて関係者と協議する	○	公式ホームページに情報を集約済
20			ホームページで外国語での情報発信を充実する	○	外国語での情報発信の充実化に取り組んでいる			
21		ルートマップ	マップの増刷時に水濡れに強い仕様にする	△	利便性向上のため令和3年度に紙媒体から電子媒体へ移行予定	○	水濡れに強いマップを作成 スマホアプリを提供	
22		ルートのPR	国内外へのPRを展開する	○	海外の展示会に出展 VR動画を作成しVR体験会を実施予定			
◎	取組体制	取組体制	協議会を定期的開催する	○	定期的開催			
◎		地方版計画への位置づけ	令和元年度中に関係機関で具体的な取組を決定する 令和2年度に次期地方版計画に位置付ける	×	次期地方版計画に位置付ける	○	位置付け済	

改善方針の進捗状況(トカプチ400)



#	観点	評価項目	指定時(R3.5)	今回フォローアップ(R8.3)	
			今後の改善方針	区分	進捗状況
◎	ルート設定	ルートの魅力	域内のサイクリングルートと連携し回遊性を高める 様々な層をターゲットにした地域ルートを検討する	○	ルート周辺に9つの地域ルートを設定済
		ルートの安全性	交通量1万台以上の都市部の車道混在区間について自転車ネットワーク計画に位置付ける 現地・マップで注意喚起を行う	○	令和5年度に自転車ネットワーク計画に位置付け済 令和6年度に現地・マップで注意喚起を実施済
		子供等への配慮	利用者が力量に応じたルート選択ができるようルート特性に関して情報提供する	○	初心者でも1日で楽しめる8つのデイリーセッションを設定済
◎	走行環境	走行環境の安全性	都市部の区間(15km)について令和6年度を目標に整備する 令和4年度に自転車ネットワーク計画に位置付ける	△	15kmのうち14.8km整備済 令和9年度に整備完了予定 自転車ネットワーク計画に位置付け済
			郊外部の区間(388km)について令和6年度を目標に整備する	△	388kmのうち378km整備済 令和9年度に整備完了予定
		ドライバーに対するサイクリングルートの注意喚起について矢羽根・案内看板に加えた改善を図る	×	利用者の声を踏まえながら対応を検討中	
◎		快適性	一時停止の規制を極力減らすよう検討する	×	ルート変更について調整中
		維持管理水準	走行性の改善のため令和4年度からグレーチングの幅広タイプを細幅タイプに更新する 巡回等による確認を行い必要に応じて清掃を行う	△	細幅タイプに更新を進める 巡回清掃を実施
		ルートの案内	案内看板について令和6年度を目標にシールタイプを平板標識タイプに更新する 路面表示の維持については引き続き検討する	△	令和9年度に更新完了予定
			起点・主要目的地までの距離案内について令和3年度に箇所等を検討し、令和4年度から設置する	×	令和8年度中に箇所等を検討し、令和9年度から設置を行う
			ゲートウェイ等の案内について令和3年度に箇所等を検討し、令和4年度から設置する	×	令和8年度中に箇所等を検討し、令和9年度から設置を行う
◎			ナショナルサイクルルートのロゴマークについて令和4年度中に起終点と主な分岐部に設置する 令和6年度までに残る単路部と分岐部に設置する	△	令和9年度に設置完了予定
◎	受入環境	ゲートウェイの整備	ゲートウェイ(十勝帯広空港)において機能拡充を図る	△	推奨機能の整備に取組中 新たなゲートウェイ「道の駅おとふけ」は令和8年度を目標に推奨機能をすべて整備予定
		サイクルステーションの整備	サイクルステーションにおいて機能向上に取り組む 市町村と連携し受入体制や受入環境の更なる充実を図る	○	市町村と連携し自販機設置による物品販売など推奨機能を整備
		迂回のための代替交通手段	迂回のための代替交通手段について令和3年度中を目標にルート独自のホームページを開設し情報提供する	○	令和3年度に公式ホームページで情報を提供
		回送としての代替交通手段	自転車回送サービスについて令和3年度中を目標にルート独自のホームページを開設し情報提供する	○	令和3年度に公式ホームページで情報を提供
		宿泊施設	宿泊施設において推奨機能を整備する サイクリスト向け宿泊施設を拡大する	○	推奨機能を整備 宿泊施設の拡大を実施(15箇所→21箇所)
		ガイドツアーの実施	一部区間のみ実施の外国語対応ツアーの強化を図る	○	トカプチ一周の英語対応ツアーを実施
		修理サービス	修理サービスについて令和3年度中を目標にルート独自のホームページを開設し情報提供する	○	令和3年度に公式ホームページで情報を提供
		トラブル時の搬送サービス	トラブル時の搬送サービスについて令和3年度中を目標にルート独自のホームページを開設し情報提供する	○	令和3年度に公式ホームページで情報を提供
		緊急時連絡サポート	携帯電話不感地帯について令和3年度中を目標にルート独自のホームページを開設し情報提供する 不感地帯解消に向けて関係機関と協議する	△	令和3年度に公式ホームページで情報を提供 サイクリスト応援カー(道路パトロールカー)による支援を運用 不感地帯解消に向けた協議を進める
			情報発信	利用者が力量に応じたルート選択ができるようルート特性に関して情報提供する	○
	ルートのPR	国内外へのPR、プロモーションを更に展開する	○	海外イベントなどでPRを実施	
◎	取組体制	地方版計画への位置づけ	令和4年度以降自転車活用推進計画に具体的に位置付ける	○	位置付け済

改善方針の進捗状況(富山湾岸サイクリングコース)



#	観点	評価項目	指定時(R3.5)	今回フォローアップ(R8.3)		
			今後の改善方針	区分	進捗状況	
1	ルート設定	ルートの魅力	域内のサイクリングルートと連携し回遊性を高める 県内の既存コース・イベントとの連携を進める 初心者向け等のモデルルートを設定し情報発信する	○	令和3年度に公式ホームページに県内のサイクリングコース・イベント情報を掲載し連携を強化 令和4年度に公式ホームページにファミリーコースなどのおすすめルートの情報を提供	
		ルートの安全性	交通量1万台以上の郊外部の車道混在区間について矢羽根や注意喚起看板などを設置する	△	令和8年度に設置完了予定	
		子供等への配慮	利用者が力量に応じたルート選択ができるようルート特性に関して情報提供する	○	令和4年度に公式ホームページにファミリーコースなどのおすすめルートの情報を提供	
◎	4	走行環境	走行環境の安全性	都市部の区間(22km)について令和5年度を目標に整備する	△	22kmのうち16km整備済 令和8年度に整備完了予定
◎	5	走行環境	走行環境の安全性	郊外部の区間(80km)について令和5年度を目標に整備する なお、交通量1万台以上かつ路肩1.0m未満の区間については矢羽根や注意喚起看板などを設置する	△	80kmのうち71km整備済 令和8年度に矢羽根や注意喚起看板を設置完了予定
◎	6			ドライバーに対するサイクリングルートの注意喚起についてブルーライン・ピクトグラムに加えた改善を図る	△	令和8年度に看板を設置完了予定
◎	7			注意喚起のない急勾配箇所(1箇所)について令和5年度を目標に案内表示を設置 路肩のデリネーターの位置の見直しや側溝の注意喚起を行う	△	令和8年度に看板を設置完了予定 安全対策として側溝の蓋掛けや注意喚起を実施予定
	8	走行環境	快適性	一時停止の規制を極力減らすよう検討する	×	利用者の意見等を踏まえて検討する
	9	走行環境	維持管理水準	砂を被る区間をはじめ、維持管理の更なる充実を図る	○	堆砂対策としてう回路の案内やバロールによる清掃を実施
◎	10	走行環境	ルートの案内	ナショナルサイクルートのロゴマークについて令和5年度を目標に起終点と分岐部に設置する	△	令和8年度に路面表示を、令和9年度に案内看板を設置完了予定
◎	11	受入環境	ゲートウェイの整備	ゲートウェイの追加やゲートウェイ(ひみ番屋街)の機能拡充を図る	×	沿線市町と連携しゲートウェイの追加や機能拡充に取り組む
			サイクルステーションの整備	サイクルステーションにおいて機能向上に取り組む	×	関係者と連携しサイクルステーションの機能向上に取り組む
			回送としての代替交通手段	サイクルタクシーの情報提供方法を検討する	○	令和5年度に公式ホームページでサイクルタクシーの情報を提供
			宿泊施設	宿泊施設において推奨機能を整備する サイクリスト向け宿泊施設を拡大する	△	関係者と連携し推奨機能の整備に取り組む 宿泊施設の拡大を実施(2箇所→19箇所)
			ガイドツアーの実施	県内在住の認定ガイドの事務所をホームページで紹介する	×	令和8年度に公式ホームページで情報を提供予定
			トラブル時の搬送サービス	トラブル時の搬送サービスについて情報提供方法を検討する	○	令和5年度に公式ホームページでサイクルタクシーの情報を提供
17	情報発信	情報発信	県内の既存コース・イベントとの連携を進める 初心者向け等のモデルルートを設定し情報発信する 利用者が力量に応じたルート選択ができるようルート特性に関して情報提供する 公式ホームページのコンテンツの充実を図る	○	令和3年度に公式ホームページに県内のサイクリングコース・イベント情報を掲載し連携を強化 令和4年度に公式ホームページにファミリーコースなどのおすすめルートの情報を提供	
		ルートのPR	国内外のイベント出展を検討する	○	国内外のサイクリングイベントに出展	
◎	19	取組体制	取組体制	走行環境・受入環境の充実に向けて関係団体等との連携を強化する	○	令和6年度に民間主体のTOYAMAサイクルツーリズム推進協議会を発足
			地方版計画への位置づけ	令和3年度中に自転車活用推進計画に具体的に位置付ける	○	位置付け済

◎は必須要件の達成に向けた改善方針

改善方針の進捗状況(太平洋岸自転車道(千葉県))



#	観点	評価項目	指定時(R3.5)	今回フォローアップ(R8.3)			
			今後の改善方針	区分	進捗状況		
1	ルート設定	ルートの魅力	域内のサイクリングルートと連携し回遊性を高める 利用者が一部区間を選択できるようルートの細分化と情報発信について令和3年度中に改善策をまとめる	△	域内ルートとの連携について検討中 ルートの細分化について検討中		
2		ルートの安全性	交通量1万台以上の郊外部の車道混在区間について当面の安全対策を実施する 交通量1万台以上の都市部の車道混在区間について自転車ネットワーク計画に位置付け、現地・マップで注意喚起を行う	○	郊外部区間について令和3年度に安全対策(矢羽根)を実施 都市部区間について自転車ネットワーク計画の位置付け済、マップで注意喚起を実施		
3		子供等への配慮	幅広い世代が楽しめるようルートの細分化と情報発信について令和3年度中に改善策をまとめる 利用者が力量に応じたルート選択ができるようルート特性に関して情報提供する	△	ルートの細分化について検討中		
4	走行環境	走行環境の安全性	都市部の区間(226km)について早期に整備することを基本とする 一部区間においては外側線外側の空間確保など安全性向上を図る 早期に自転車ネットワーク計画に位置付ける	△	11kmのうち8km整備済 自転車ネットワーク計画の位置付け済		
5			郊外部の区間(1262km)について早期に整備することを基本とする 一部区間においては矢羽根の間隔を短くするなど安全性向上を図る	△	207kmのうち153km整備済 18kmで矢羽根の間隔を短くする安全対策を実施		
6			ドライバーに対するサイクリングルートの注意喚起について矢羽根・道路情報板に加えた改善を図る	○	令和7年度に看板を設置完了		
7			注意喚起のない狭小幅員の橋梁(10箇所)と急勾配箇所(237箇所)について令和6年度を目途に看板を設置する 狭小幅員のトンネルについて注意喚起に加え照明を明るくするなどの対策を検討する	△	狭小幅員の橋梁について看板を設置完了 急勾配箇所について看板を設置中 狭小幅員のトンネルについて照明のLED化を実施		
8			快適性	一時停止の規制を極力減らすよう検討する 車止めの視認性やスロープ付階段の注意喚起など安全対策を行う	△	一時停止解消について関係機関と意見交換を行う 安全対策について注意喚起看板の視認性向上のため高さ改善を実施	
9			維持管理水準	砂を被る区間をはじめ、維持管理の更なる充実を図る	○	堆砂対策として道路の嵩上げを実施	
10			ルートの案内	起点・主要目的地までの距離案内について箇所や丁寧な案内方法等を検討し、設置する	○	令和3年度に設置完了	
11				ゲートウェイ等の案内について箇所や丁寧な案内方法等を検討し、設置する	×	自転車利用者等に意見を伺い設置箇所や案内方法について検討する	
12				ナショナルサイクリングルートのロゴマークについて令和6年度を目途に起終点と分岐部に設置する	○	令和3年度に設置完了	
13			受入環境	ゲートウェイの整備	ゲートウェイにおいて機能拡充を図る	×	自転車利用者等に意見を伺い更なる対応について検討する
14				サイクルステーションの整備	サイクルステーションにおいて機能向上に取り組む 関係者と連携し受入体制や受入環境の更なる充実を図る	△	緊急支援物品をサイクルステーションに設置し機能拡充を実施 自転車利用者等に意見を伺い更なる対応について検討する
15				迂回のための代替交通手段	迂回のための代替交通手段について情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する	○	公式ホームページで情報を提供
16	回送としての代替交通手段	自転車回送サービスについて情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する		○	公式ホームページで情報を提供		
17	宿泊施設	宿泊施設において推奨機能を整備する サイクリスト向け宿泊施設を拡大する		×	自転車利用者等に意見を伺い更なる対応について検討する		
18	ガイドツアーの実施	日本語のほか外国語でのガイドツアーを実施する		×	自転車利用者等に意見を伺い対応について検討する		
19	修理サービス	修理サービスについて情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する		○	公式ホームページで情報を提供		
20	トラブル時の搬送サービス	トラブル時の搬送サービスについてサイクルタクシー等の実施を検討する		×	関係機関と協議しサイクルタクシー等の実施について検討する		
21		トラブル時の搬送サービスについて専用サイトを設けて情報提供する		×	関係機関と協議しサイクルタクシー等の実施について検討する		
22	緊急時連絡サポート	緊急時連絡サポートについて情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する		○	公式ホームページで情報を提供		
23	情報発信	情報発信	情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する 利用者が一部区間を選択できるようルートの細分化と情報発信について令和3年度中に改善策をまとめる 利用者が力量に応じたルート選択ができるようルート特性に関して情報提供する	△	ルートの細分化について検討中		
24		ルートマップ	利用者が一部区間を選択できるようルートの細分化と情報発信について令和3年度中に改善策をまとめる 利用者が力量に応じたルート選択ができるようルート特性に関してとりまとめたルートマップを作成する	△	ルートの細分化について検討中		
25		ルートのPR	国内外へのPRを展開する	○	インフルエンサーを活用した動画PRを実施		
26	取組体制	取組体制	走行環境・受入環境の充実に向けて関係団体等との連携を強化する	△	定期的に協議会を開催		
27		地方版計画への位置づけ	早期に自転車活用推進計画に具体的に位置付ける	○	位置付け済		

改善方針の進捗状況(太平洋岸自転車道(神奈川県))



#	観点	評価項目	指定時(R3.5)	今回フォローアップ(R8.3)	
			今後の改善方針	区分	進捗状況
◎	ルート設定	ルートの魅力	域内のサイクリングルートと連携し回遊性を高める 利用者が一部区間を選択できるようルートの細分化と情報発信について令和3年度中に改善策をまとめる	△	域内ルートとの連携について太平洋岸自転車道の一部を含めたサイクリングルートを設定 ルートの細分化について検討中
		ルートの安全性	交通量1万台以上の郊外部の車道混在区間について当面の安全対策を実施する 交通量1万台以上の都市部の車道混在区間について自転車ネットワーク計画に位置付け、現地・マップで 注意喚起を行う	△	郊外部区間について安全対策(矢羽根)を実施 都市部区間について現地・マップで注意喚起を実施 自転車ネットワーク計画の位置付けを進める
		子供等への配慮	幅広い世代が楽しめるようルートの細分化と情報発信について令和3年度中に改善策をまとめる 利用者が力量に応じたルート選択ができるようルート特性に関して情報提供する	△	ルートの細分化について検討中
◎	走行環境	走行環境の安全性	都市部の区間(226km)について早期に整備することを基本とする 一部区間においては外側線外側の空間確保など安全性向上を図る 早期に自転車ネットワーク計画に位置付ける	△	72kmのうち53km整備済 自転車ネットワーク計画の位置付けを進める
◎			郊外部の区間(1262km)について早期に整備することを基本とする 一部区間においては矢羽根の間隔を短くするなど安全性向上を図る	△	31kmのうち12km整備済 20kmで矢羽根の間隔を短くする安全対策を実施 路肩の幅員確保について検討する
◎		ドライバーに対するサイクリングルートの注意喚起について矢羽根・道路情報板に加えた改善を図る 注意喚起のない狭小幅員の橋梁(10箇所)と急勾配箇所(237箇所)について令和6年度を目途に看板を設置する(※神奈川県内は狭小幅員の橋梁は該当なし) 狭小幅員のトンネルについて注意喚起に加え照明を明るくするなどの対策を検討する(※神奈川県内は狭小幅員のトンネルは該当なし)	×	地区協議会を通じ対応を検討する	
◎		快適性	一時停止の規制を極力減らすよう検討する 車止めの視認性やスロープ付階段の注意喚起など安全対策を行う	△	一時停止解消について県内全1箇所の検討を行うが交差点形状から解消は困難 安全対策について対策を検討する
◎		維持管理水準	砂を被る区間をはじめ、維持管理の更なる充実を図る	○	堆砂対策として竹柵を設置
◎		ルートの案内	案内路面表示について二重区間などに対して分かりやすい案内を設置する	○	行き先の明確化など改善を実施
◎			案内看板について二重区間等に対して分かりやすい案内を設置する	○	行き先の明確化など改善を実施
◎	起点・主要目的地までの距離案内について箇所や丁寧な案内方法等を検討し、設置する		○	設置完了	
◎	ゲートウェイ等の案内について箇所や丁寧な案内方法等を検討し、設置する	○	設置完了		
◎	ナショナルサイクルルートのロゴマークについて令和6年度を目途に起終点と分岐部に設置する	×	設置箇所、方法について検討する		
◎	受入環境	ゲートウェイの整備	ゲートウェイのアクセス改善や新たなゲートウェイ設置を検討する	○	新たなゲートウェイ4箇所「横須賀港(久里浜地区)」「三崎口駅」「片瀬江ノ島駅」「漁港の駅 TOTOCO小田原」を設置
◎			ゲートウェイにおいて機能拡充を図る	○	推奨機能を整備
◎		サイクルステーションの整備	サイクルステーションにおいて機能向上に取り組む 関係者と連携し受入体制や受入環境の更なる充実を図る	×	施設管理者に対して機能の更なる充実について働きかける
◎		迂回のための代替交通手段	迂回のための代替交通手段について情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する	○	公式ホームページで情報を提供
◎		回送としての代替交通手段	自転車回送サービスについて情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する	○	公式ホームページで情報を提供
◎		宿泊施設	宿泊施設において推奨機能を整備する サイクリスト向け宿泊施設を拡大する	×	施設管理者に対して機能の更なる充実について働きかける
◎		ガイドツアーの実施	日本語のほか外国語でのガイドツアーを実施する	×	外国語でのガイドツアー実施に向けて関係機関と連携した取り組みを検討する
◎		修理サービス	修理サービスについて情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する	○	公式ホームページで情報を提供
◎		トラブル時の搬送サービス	トラブル時の搬送サービスについて専用サイトを設けて情報提供する	△	公式ホームページでサイクルタクシー情報のリンクを掲載
◎		緊急時連絡サポート	緊急時連絡サポートについて情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する	○	公式ホームページで情報を提供
◎	情報発信	情報発信	情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する 利用者が一部区間を選択できるようルートの細分化と情報発信について令和3年度中に改善策をまとめる 利用者が力量に応じたルート選択ができるようルート特性に関して情報提供する	△	ルートの細分化について検討中
◎		ルートマップ	利用者が一部区間を選択できるようルートの細分化と情報発信について令和3年度中に改善策をまとめる 利用者が力量に応じたルート選択ができるようルート特性に関してとりまとめたルートマップを作成する	△	ルートの細分化について検討中
◎		ルートのPR	国内外へのPRを展開する	○	サイクルモード東京等でPRを実施
◎	取組体制	取組体制	走行環境・受入環境の充実に向けて関係団体等との連携を強化する	○	協議会に市観光部局を追加し連携を強化
◎		地方版計画への位置づけ	早期に自転車活用推進計画に具体的に位置付ける	○	位置付け済

改善方針の進捗状況(太平洋岸自転車道(静岡県))



#	観点	評価項目	指定時(R3.5)	今回フォローアップ(R8.3)	
			今後の改善方針	区分	進捗状況
1	ルートの設定	ルートの魅力	域内のサイクリングルートと連携し回遊性を高める 利用者が一部区間を選択できるようなルートの細分化と情報発信について令和3年度中に改善策をまとめる	△	域内ルートとの連携についてフジイチ、ハマイチ等との接続ルートを設定 ルートの細分化について検討中
2		ルートの安全性	交通量1万台以上の郊外部の車道混在区間について当面の安全対策を実施する 交通量1万台以上の都市部の車道混在区間について自転車ネットワーク計画に位置付け、現地・マップで注意喚起を行う	△	郊外部区間について注意喚起看板の設置や路肩の防草対策、側溝改修の安全対策を進める 都市部区間について自転車ネットワーク計画の位置付けを進める
3			生活道路の通行マナーについて検討し公式ホームページ・マップ等で周知する 沿道住民に説明し理解を求める	○	マップによる周知を実施
4		子供等への配慮	幅広い世代が楽しめるようなルートの細分化と情報発信について令和3年度中に改善策をまとめる 利用者が力量に応じたルート選択ができるようルート特性に関して情報提供する	△	ルートの細分化について検討中
5	走行環境	走行環境の安全性	都市部の区間(226km)について早期に整備することを基本とする 一部区間においては外側線外側の空間確保など安全性向上を図る 早期に自転車ネットワーク計画に位置付ける	△	93kmのうち36km整備済 自転車ネットワーク計画の位置付けを進める
6			郊外部の区間(1262km)について早期に整備することを基本とする 一部区間においては矢羽根の間隔を短くするなど安全性向上を図る	△	375kmのうち304km整備済 急峻な地形で拡幅困難な区間は路肩の防草対策や側溝改修による改善を進める
7			ドライバーに対するサイクリングルートの注意喚起について矢羽根・道路情報板に加えた改善を図る	○	チラシやポスターによる利用者への周知を実施
8			注意喚起のない狭小幅員の橋梁(10箇所)と急勾配箇所(237箇所)について令和6年度を目途に看板を設置する 狭小幅員のトンネルについて注意喚起に加え照明を明るくするなどの対策を検討する	△	狭小幅員の橋梁と急勾配箇所について看板を設置完了 狭小幅員のトンネルについて照明のLED化を令和8年度に完了予定
9		快適性	一時停止の規制を極力減らすよう検討する 車止めの視認性やスロープ付階段の注意喚起など安全対策を行う	△	一時停止解消について整備中の防潮堤の天端へのルート変更により削減予定 安全対策について令和5年度に各道路管理者による安全点検の手引きを作成
10		維持管理水準	砂を被る区間をはじめ、維持管理の更なる充実を図る	○	令和5年度に各道路管理者による安全点検の手引きを作成 堆砂対策として整備中の防潮堤の天端へのルート変更を予定
11		ルートの案内	案内路面表示について二重区間などに対して分かりやすい案内を設置する	△	令和8年度に設置完了予定
12			案内看板について二重区間等に対して分かりやすい案内を設置する	△	令和8年度に設置完了予定
13			起点・主要目的地までの距離案内について箇所や丁寧な案内方法等を検討し、設置する	△	令和8年度に設置完了予定
14			ゲートウェイ等の案内について箇所や丁寧な案内方法等を検討し、設置する	×	対応を検討中
15	ナショナルサイクルルートのロゴマークについて令和6年度を目途に起終点と分岐部に設置する		○	令和6年度に設置完了	
16	ゲートウェイの整備		ゲートウェイにおいて機能拡充を図る	×	推奨項目の整備について呼び掛ける
17		ゲートウェイからのアクセスルートについて早期に整備する	○	伊豆ゲートウェイ函南からのアクセスルートについて令和6年度に整備完了	
18	サイクルステーションの整備	サイクルステーションにおいて機能向上に取り組み 関係者と連携し受入体制や受入環境の更なる充実を図る	○	推奨機能を整備	
19	迂回のための代替交通手段	迂回のための代替交通手段について情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する	○	公式ホームページで情報を提供	
20	回送としての代替交通手段	自転車回送サービスについて情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する	○	公式ホームページで情報を提供	
21	宿泊施設	宿泊施設において推奨機能を整備する サイクリスト向け宿泊施設を拡大する	△	推奨機能を整備	
22	ガイドツアーの実施	日本語のほか外国語でのガイドツアーを実施する	○	フジイチと連携したガイドツアー等を実施	
23	修理サービス	修理サービスについて情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する	○	公式ホームページで情報を提供	
24	トラブル時の搬送サービス	トラブル時の搬送サービスについてサイクルタクシー等の実施を検討する	×	交通事業者等と調整対応を検討する	
25		トラブル時の搬送サービスについて専用サイトを設けて情報提供する	×	交通事業者等と調整対応を検討する	
26	緊急時連絡サポート	緊急時連絡サポートについて情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する	○	公式ホームページで情報を提供	
27	情報発信	情報発信	情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する 利用者が一部区間を選択できるようなルートの細分化と情報発信について令和3年度中に改善策をまとめる 利用者が力量に応じたルート選択ができるようルート特性に関して情報提供する	△	ルートの細分化について検討中
28		ルートマップ	利用者が一部区間を選択できるようなルートの細分化と情報発信について令和3年度中に改善策をまとめる 利用者が力量に応じたルート選択ができるようルート特性に関してとりまとめたルートマップを作成する	△	ルートの細分化について検討中
29		ルートのPR	国内外へのPRを展開する	○	サイクルモード東京等でPRを実施
30	取組体制	取組体制	走行環境・受入環境の充実に向けて関係団体等との連携を強化する	○	安全点検検討会を設立し連携を強化
31		地方版計画への位置づけ	早期に自転車活用推進計画に具体的に位置付ける	○	位置付け済

改善方針の進捗状況(太平洋岸自転車道(愛知県))



#	観点	評価項目	指定時(R3.5)	今回フォローアップ(R8.3)			
			今後の改善方針	区分	進捗状況		
◎	ルート設定	ルートの魅力	域内のサイクリングルートと連携し回遊性を高める 利用者が一部区間を選択できるようルートの細分化と情報発信について令和3年度中に改善策をまとめる	△	ルートから観光施設への案内看板の設置を行う ルートの細分化について検討中		
		ルートの安全性	交通量1万台以上の郊外部の車道混在区間について当面の安全対策を実施する 交通量1万台以上の都市部の車道混在区間について自転車ネットワーク計画に位置付け、現地・マップで注意喚起を行う(※愛知県内は都市部区間は該当なし)	△	郊外部区間について安全対策を進める		
		生活道路の通行マナーについて検討し公式ホームページ・マップ等で周知する 沿道住民に説明し理解を促す	△	令和8年度にマップの周知と路面表示を設置予定			
		子供等への配慮	幅広い世代が楽しめるようルートの細分化と情報発信について令和3年度中に改善策をまとめる 利用者が力量に応じたルート選択ができるようルート特性に関して情報提供する	△	ルートの細分化について検討中		
◎	走行環境	走行環境の安全性	郊外部の区間(1262km)について早期に整備することを基本とする 一部区間においては矢羽根の間隔を短くするなど安全性向上を図る	△	78kmのうち76km整備済 路肩の幅員確保に向けて令和8年度に設計予定		
		ドライバーに対するサイクリングルートの注意喚起について矢羽根・道路情報板に加えた改善を図る	△	令和8年度に看板設置完了予定			
◎	走行環境	注意喚起のない狭小幅員の橋梁(10箇所)と急勾配箇所(237箇所)について令和6年度を目途に看板を設置する(※愛知県内は狭小幅員の橋梁は該当なし) 狭小幅員のトンネルについて注意喚起に加え照明を明るくするなどの対策を検討する(※愛知県内は狭小幅員のトンネルは該当なし)	△	急勾配箇所について看板を設置中			
		快適性	一時停止の規制を極力減らすよう検討する 車止めの視認性やスロープ付階段の注意喚起など安全対策を行う	×	一時停止解消について令和8年度に実施予定 ・安全対策について対策を検討する		
◎	維持管理水準	砂を被る区間をはじめ、維持管理の更なる充実を図る	△	堆砂対策として統一的な管理基準を令和8年度に策定予定			
◎	ルートの案内	案内路面表示について二重区間などに対して分かりやすい案内を設置する	△	設置を進める			
		案内看板について二重区間等に対して分かりやすい案内を設置する	△	設置を進める			
		起点・主要目的地までの距離案内について箇所や丁寧な案内方法等を検討し、設置する	△	令和8年度に設置完了予定			
		ゲートウェイ等の案内について箇所や丁寧な案内方法等を検討し、設置する	△	令和8年度に設置完了予定			
		ナショナルサイクルルートのロゴマークについて令和6年度を目途に起終点と分岐部に設置する	△	令和8年度に設置完了予定			
		ゲートウェイの整備	ゲートウェイにおいて機能拡充を図る	×	愛知県協議会で引き続き検討を行う		
		サイクルステーションの整備	サイクルステーションにおいて機能向上に取り組む 関係者と連携し受入体制や受入環境の更なる充実を図る	×	愛知県協議会で引き続き検討を行う		
◎	受入環境	迂回のための代替交通手段	迂回のための代替交通手段について情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する	○	公式ホームページで情報を提供		
		回送としての代替交通手段	自転車回送サービスについて情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する	○	公式ホームページで情報を提供		
		宿泊施設	宿泊施設において推奨機能を整備する サイクリスト向け宿泊施設を拡大する	△	愛知県協議会で引き続き検討を行う 宿泊施設の拡大を実施(6箇所→7箇所)		
		ガイドツアーの実施	日本語のほか外国語でのガイドツアーを実施する	×	愛知県協議会で引き続き検討を行う		
		修理サービス	修理サービスについて情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する	○	公式ホームページで情報を提供		
		トラブル時の搬送サービス	トラブル時の搬送サービスについてサイクルタクシー等の実施を検討する	×	サイクルタクシーなどの他事例を収集 愛知県協議会で引き続き検討を行う		
		トラブル時の搬送サービス	トラブル時の搬送サービスについて専用サイトを設けて情報提供する	×	愛知県協議会で引き続き検討を行う		
		緊急時連絡サポート	緊急時連絡サポートについて情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する	○	公式ホームページで情報を提供		
		◎	情報発信	情報発信	情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する 利用者が一部区間を選択できるようルートの細分化と情報発信について令和3年度中に改善策をまとめる 利用者が力量に応じたルート選択ができるようルート特性に関して情報提供する	△	ルートの細分化について検討中
				ルートマップ	利用者が一部区間を選択できるようルートの細分化と情報発信について令和3年度中に改善策をまとめる 利用者が力量に応じたルート選択ができるようルート特性に関してとりまとめたルートマップを作成する	△	ルートの細分化について検討中
ルートのPR	国内外へのPRを展開する			○	サイクルモード東京等でPRを実施		
◎	取組体制	取組体制	走行環境・受入環境の充実に向けて関係団体等との連携を強化する	○	協議会に伊勢湾フェリー等を追加し連携を強化		
		地方版計画への位置づけ	早期に自転車活用推進計画に具体的に位置付ける	○	位置付け済		

改善方針の進捗状況(太平洋岸自転車道(三重県))



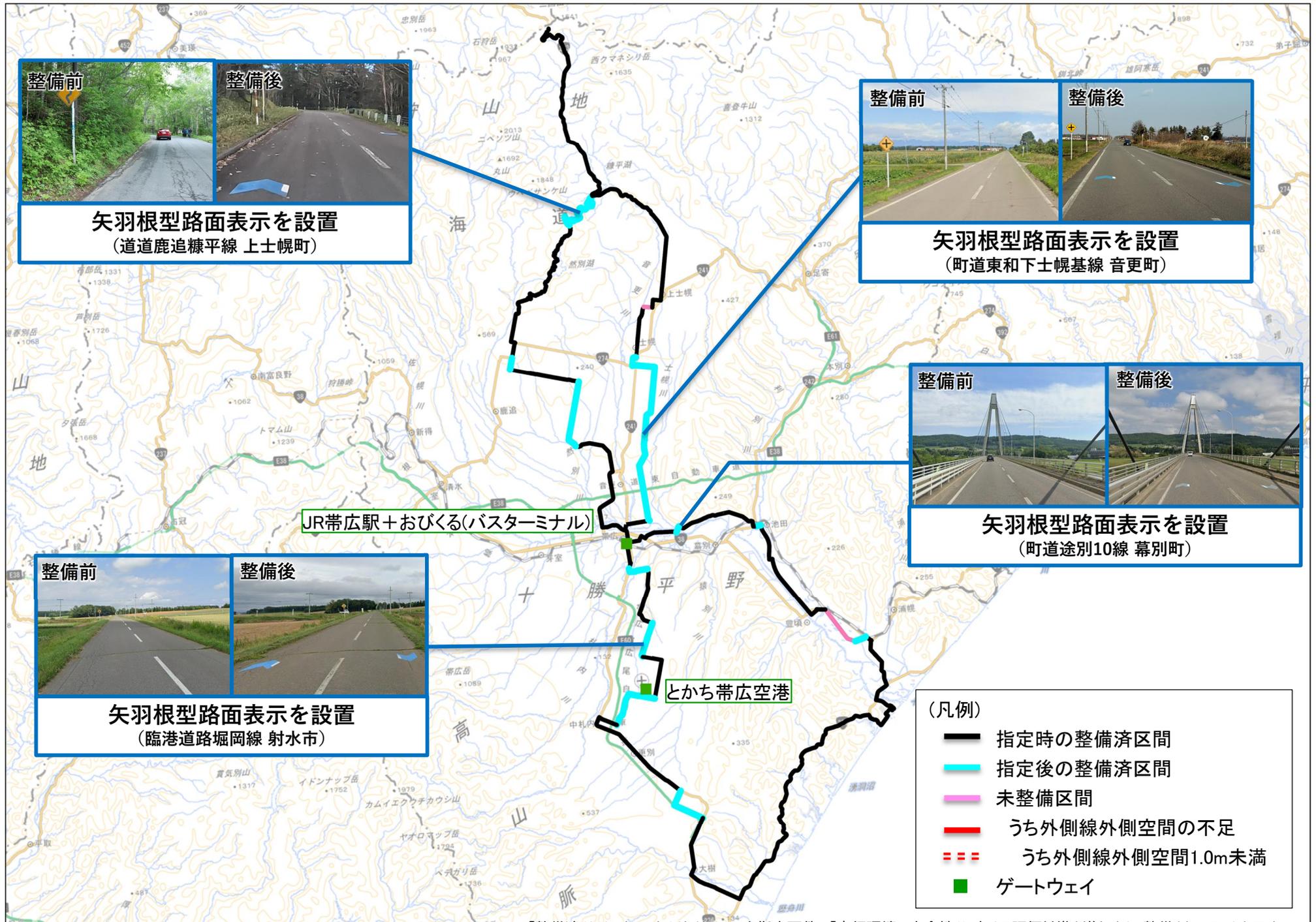
#	観点	評価項目	指定時(R3.5)	今回フォローアップ(R8.3)		
			今後の改善方針	区分	進捗状況	
1	ルート設定	ルートの魅力	域内のサイクリングルートと連携し回遊性を高める 利用者が一部区間を選択できるようルートの細分化と情報発信について令和3年度中に改善策をまとめる	△	伊勢神宮等との連携について今後検討する ルートの細分化について検討中	
2		ルートの安全性	交通量1万台以上の郊外部の車道混在区間について当面の安全対策を実施する 交通量1万台以上の都市部の車道混在区間について自転車ネットワーク計画に位置付け、現地・マップで注意喚起を行う	○	郊外部区間について令和6年度に安全対策(矢羽根)を実施 都市部区間について自転車ネットワーク計画の位置付け済	
3		子供等への配慮	幅広い世代が楽しめるようルートの細分化と情報発信について令和3年度中に改善策をまとめる 利用者が力量に応じたルート選択ができるようルート特性に関して情報提供する	△	ルートの細分化について検討中	
4	走行環境	走行環境の安全性	都市部の区間(226km)について早期に整備することを基本とする 一部区間においては外側線外側の空間確保など安全性向上を図る 早期に自転車ネットワーク計画に位置付ける	○	10kmのうち10km整備済み 自転車ネットワーク計画の位置付け済	
5			郊外部の区間(1262km)について早期に整備することを基本とする 一部区間においては矢羽根の間隔を短くするなど安全性向上を図る	△	290kmのうち253km整備済	
6			ドライバーに対するサイクリングルートの注意喚起について矢羽根・道路情報板に加えた改善を図る	×	利用者の声を踏まえ対応を検討する	
7			注意喚起のない狭小幅員の橋梁(10箇所)と急勾配箇所(237箇所)について令和6年度を目途に看板を設置する 狭小幅員のトンネルについて注意喚起に加え照明を明るくするなどの対策を検討する	○	狭小幅員の橋梁と急勾配箇所について看板を設置完了 狭小幅員のトンネルについて照明のLED化を実施	
8			快適性	一時停止の規制を極力減らすよう検討する 車止めの視認性やスロープ付階段の注意喚起など安全対策を行う	×	検討中
9			維持管理水準	砂を被る区間をはじめ、維持管理の更なる充実を図る	△	定期的な維持管理を実施
10			ルートの案内	案内路面表示について二重区間などに対して分かりやすい案内を設置する	△	令和8年度に設置完了予定
11				案内看板について二重区間等に対して分かりやすい案内を設置する	○	設置完了
12				起点・主要目的地までの距離案内について箇所や丁寧な案内方法等を検討し、設置する	○	設置完了
13				ゲートウェイ等の案内について箇所や丁寧な案内方法等を検討し、設置する	○	設置完了
14				ナショナルサイクルルートのロゴマークについて令和6年度を目途に起終点と分岐部に設置する	△	令和8年度に設置完了予定
15				受入環境	ゲートウェイの整備	○
16			サイクルステーションの整備	サイクルステーションにおいて機能向上に取り組む 関係者と連携し受入体制や受入環境の更なる充実を図る	○	推奨機能を整備
17			迂回のための代替交通手段	迂回のための代替交通手段の確保を進める	○	近鉄電車でサイクルトレインを開始
18	迂回のための代替交通手段について情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する	○		公式ホームページで情報を提供		
19	回送としての代替交通手段	自転車回送サービスの確保を進める	○	近鉄電車でサイクルトレインを開始		
20		自転車回送サービスについて情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する	○	公式ホームページで情報を提供		
21	宿泊施設	宿泊施設において推奨機能を整備する	△	推奨機能を整備		
22		サイクリスト向け宿泊施設を拡大する	△	宿泊施設を拡大を進める		
23	ガイドツアーの実施	日本語のほか外国語でのガイドツアーを実施する	×	引き続き関係者と協議を行う		
24	修理サービス	修理サービスについて情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する	○	公式ホームページで情報を提供		
25	トラブル時の搬送サービス	トラブル時の搬送サービスについてサイクルタクシー等の実施を検討する	×	関係者と令和8年度に協議を行う		
26		トラブル時の搬送サービスについて専用サイトを設けて情報提供する	×	関係者と令和8年度に協議を行う		
27	情報発信	緊急時連絡サポート	緊急時連絡サポートについて情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する	○	公式ホームページで情報を提供	
28		情報発信	情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する 利用者が一部区間を選択できるようルートの細分化と情報発信について令和3年度中に改善策をまとめる 利用者が力量に応じたルート選択ができるようルート特性に関して情報提供する	△	ルートの細分化について検討中	
29		ルートマップ	利用者が一部区間を選択できるようルートの細分化と情報発信について令和3年度中に改善策をまとめる 利用者が力量に応じたルート選択ができるようルート特性に関してとりまとめたルートマップを作成する	△	ルートの細分化について検討中	
30	取組体制	ルートのPR	国内外へのPRを展開する	○	サイクルモード東京等でPRを実施	
31		取組体制	取組体制	○	協議会に伊勢湾フェリー等を追加し連携を強化	
		地方版計画への位置づけ	早期に自転車活用推進計画に具体的に位置付ける	○	位置付け済	

改善方針の進捗状況(太平洋岸自転車道(和歌山県))



#	観点	評価項目	指定時(R3.5)	今回フォローアップ(R8.3)			
			今後の改善方針	区分	進捗状況		
1	① ルート設定	ルートの魅力	域内のサイクリングルートと連携し回遊性を高める 利用者が一部区間を選択できるようなルートの細分化と情報発信について令和3年度中に改善策をまとめる	△	WAKAYAMA800のルートと連携したコースの情報を発信 ルートの細分化について検討中		
2		ルートの安全性	交通量1万台以上の郊外部の車道混在区間について当面の安全対策を実施する 交通量1万台以上の都市部の車道混在区間について自転車ネットワーク計画に位置付け、現地・マップで注意喚起を行う	△	郊外部区間について注意喚起手法等の検討を進める 都市部区間について自転車ネットワーク計画の位置付けを進める		
3		子供等への配慮	幅広い世代が楽しめるようなルートの細分化と情報発信について令和3年度中に改善策をまとめる 利用者が力量に応じたルート選択ができるようルート特性に関して情報提供する	△	ルートの細分化について検討中		
4	② 走行環境	走行環境の安全性	都市部の区間(226km)について早期に整備することを基本とする 一部区間においては外側線外側の空間確保など安全性向上を図る 早期に自転車ネットワーク計画に位置付ける	△	42kmのうち11km整備済 自転車ネットワーク計画の位置付けを進める		
5			郊外部の区間(1262km)について早期に整備することを基本とする 一部区間においては矢羽根の間隔を短くするなど安全性向上を図る	△	281kmのうち241km整備済 整備手法や注意喚起手法等について検討を進める		
6			ドライバーに対するサイクリングルートの注意喚起について矢羽根・道路情報板に加えた改善を図る	×	今後検討		
7			注意喚起のない狭小幅員の橋梁(10箇所)と急勾配箇所(237箇所)について令和6年度を目途に看板を設置する(※和歌山県内は狭小幅員の橋梁は該当なし) 狭小幅員のトンネルについて注意喚起に加え照明を明るくするなどの対策を検討する	△	急勾配箇所について看板を設置中 狭小幅員のトンネルについて令和8年度に照明のLED化予定		
8			快適性	一時停止の規制を極力減らすよう検討する 車止めの視認性やスロープ付階段の注意喚起など安全対策を行う	△	一時停止解消について検討を進める ルート上に階段があることの注意喚起看板を令和4年度に設置完了	
9			維持管理水準	砂を被る区間をはじめ、維持管理の更なる充実を図る	△	定期的な維持管理を実施	
10			ルートの案内	案内路面表示について二重区間などに対して分かりやすい案内を設置する	○	令和6年度に設置完了	
11				案内看板について二重区間等に対して分かりやすい案内を設置する	○	令和6年度に設置完了	
12				起点・主要目的地までの距離案内について箇所や丁寧な案内方法等を検討し、設置する	○	設置完了	
13				ゲートウェイ等の案内について箇所や丁寧な案内方法等を検討し、設置する	○	令和4年度に設置完了	
14				ナショナルサイクリングルートのロゴマークについて令和6年度を目途に起終点と分岐部に設置する	△	令和8年度に設置完了	
15				受入環境	ゲートウェイの整備	ゲートウェイにおいて機能拡充を図る	×
16			③	ゲートウェイの整備	ゲートウェイからのアクセスルートについて早期に整備する	○	南紀白浜空港からのアクセスルートについて令和4年度に整備完了
17					サイクルステーションの整備	サイクルステーションにおいて機能向上に取り組む 関係者と連携し受入体制や受入環境の更なる充実を図る	×
18	迂回のための代替交通手段	迂回のための代替交通手段の確保を進める		○	JR西日本キのKに線の全区間でサイクルトレインを開始		
19	迂回のための代替交通手段	迂回のための代替交通手段について情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する		○	公式ホームページで情報を提供		
20	回送としての代替交通手段	自転車回送サービスの確保を進める		○	JR西日本キのKに線の全区間でサイクルトレインを開始		
21	回送としての代替交通手段	自転車回送サービスについて情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する		○	公式ホームページで情報を提供		
22	宿泊施設	宿泊施設において推奨機能を整備する サイクリスト向け宿泊施設を拡大する		△	引き続き推奨機能の拡充を働きかける 宿泊施設の拡大を実施(31箇所→34箇所)		
23	ガイドツアーの実施	日本語のほか外国語でのガイドツアーを実施する		○	太平洋岸自転車道を含むエリアでの英語ガイドツアーを実施		
24	修理サービス	修理サービスについて情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する		○	公式ホームページで情報を提供		
25	トラブル時の搬送サービス	トラブル時の搬送サービスについてサイクルタクシー等の実施を検討する		×	今後検討		
26	トラブル時の搬送サービス	トラブル時の搬送サービスについて専用サイトを設けて情報提供する		×	今後検討		
27	緊急時連絡サポート	緊急時連絡サポートについて情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する	○	公式ホームページで情報を提供			
28	情報発信	情報発信	情報提供のあり方を検討し、専用サイトを設けて情報提供する 利用者が一部区間を選択できるようなルートの細分化と情報発信について令和3年度中に改善策をまとめる 利用者が力量に応じたルート選択ができるようルート特性に関して情報提供する	△	ルートの細分化について検討中		
29		ルートマップ	利用者が一部区間を選択できるようなルートの細分化と情報発信について令和3年度中に改善策をまとめる 利用者が力量に応じたルート選択ができるようルート特性に関してとりまとめたルートマップを作成する	△	ルートの細分化について検討中		
30		ルートのPR	国内外へのPRを展開する	○	海外への観光プロモーションを実施		
31	④ 取組体制	取組体制	走行環境・受入環境の充実に向けて関係団体等との連携を強化する	○	協議会に沿線自治体の観光部局を追加し連携を強化		
32		地方版計画への位置づけ	早期に自転車活用推進計画に具体的に位置付ける	○	位置付け済		

走行環境等の整備状況(トカプチ400)



※「整備済」は、ナショナルサイクルルート指定要件の「走行環境の安全性」に定める評価基準を満たすよう整備されていることを示す

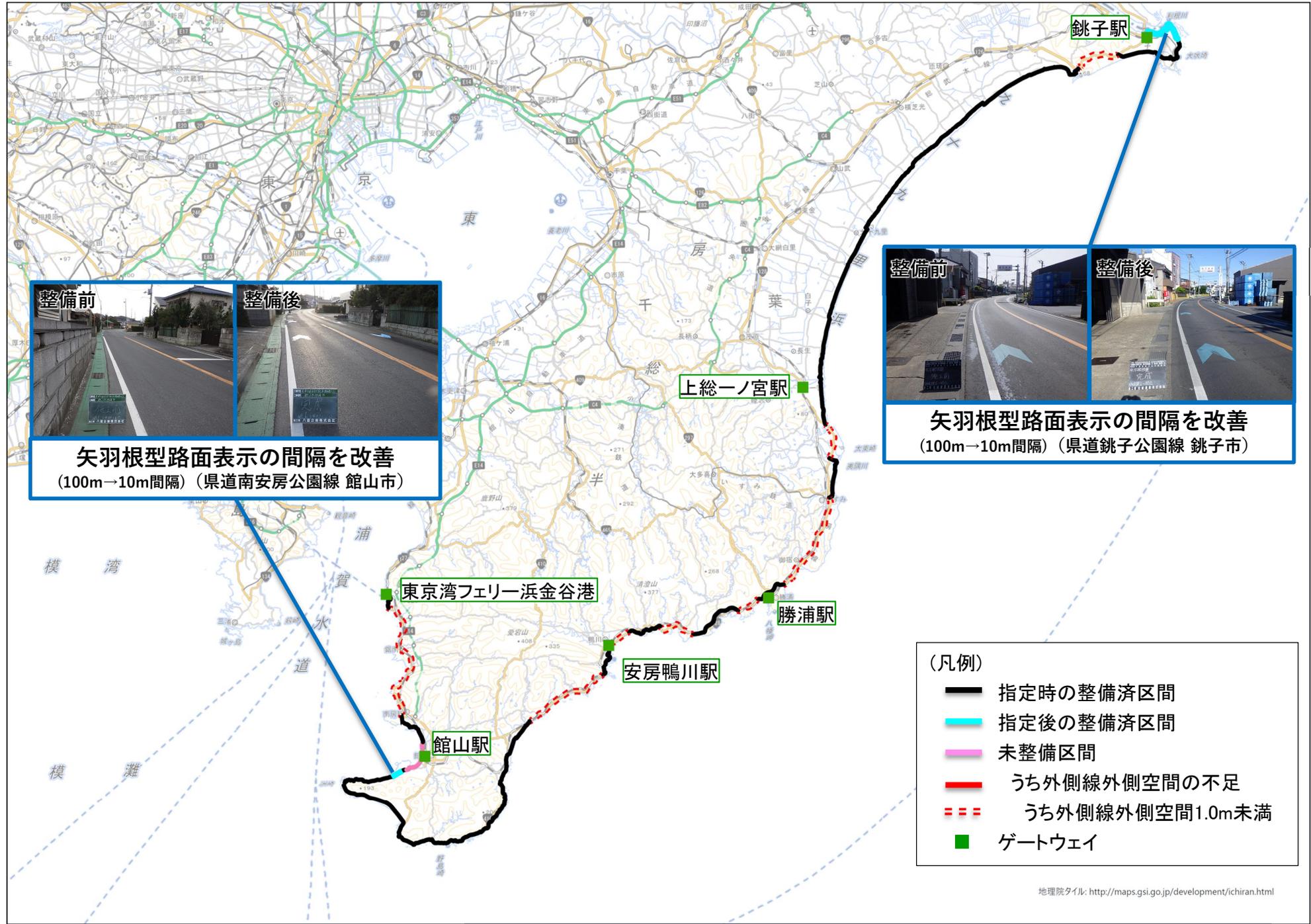
走行環境等の整備状況(富山湾岸サイクリングルート)



- (凡例)
- 指定時の整備済区間
 - 指定後の整備済区間
 - 未整備区間
 - うち外側線外側空間の不足
 - - - うち外側線外側空間1.0m未満
 - ゲートウェイ

※「整備済」とは、ナショナルサイクリングルート指定要件の「走行環境の安全性」に定める評価基準を満たすよう整備されていることを示す

走行環境等の整備状況(太平洋岸自転車道(千葉県))



※「整備済」とは、ナショナルサイクルルート指定要件の「走行環境の安全性」に定める評価基準を満たすよう整備されていることを示す

走行環境等の整備状況(太平洋岸自転車道(神奈川県))

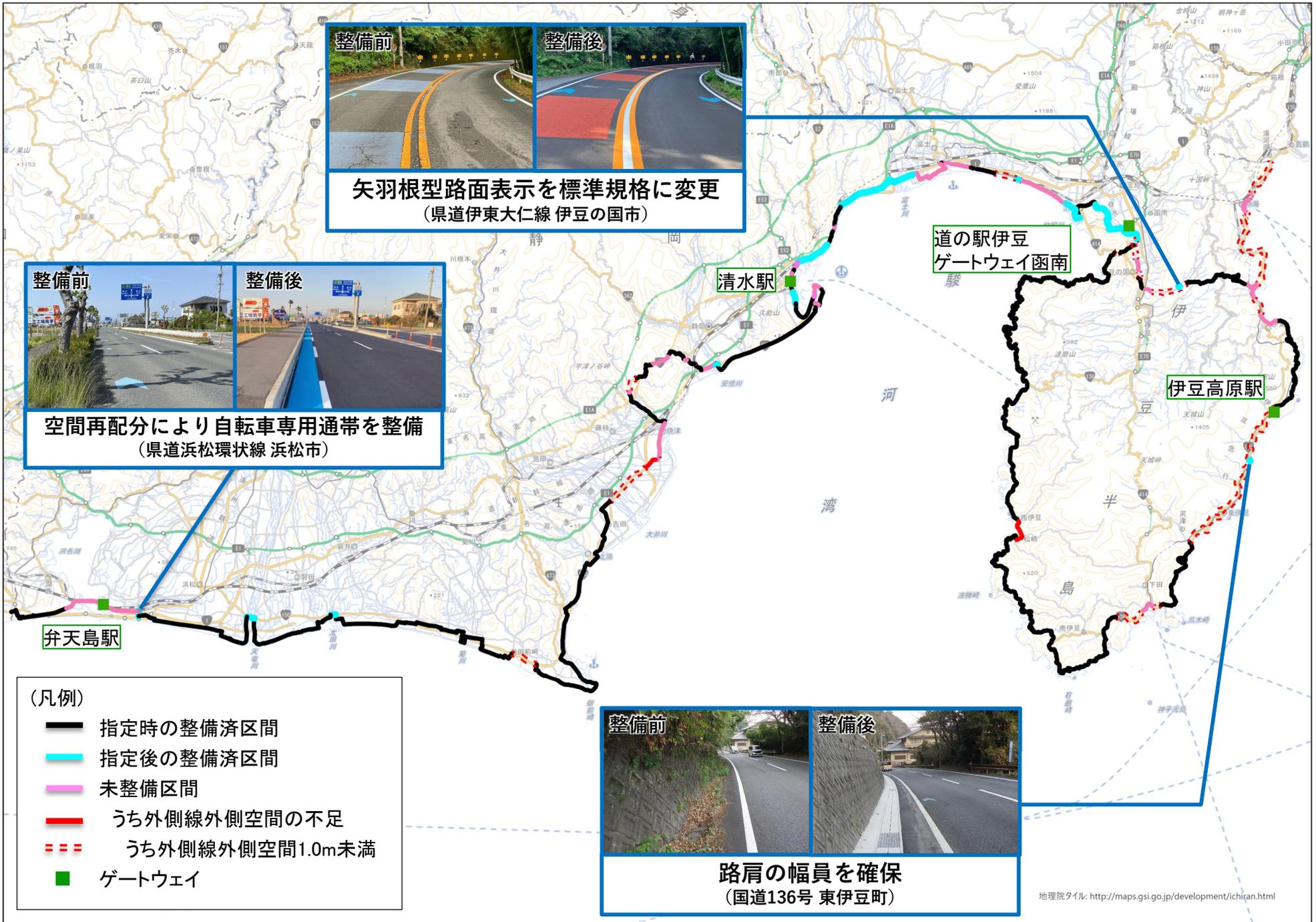


- (凡例)
- 指定時の整備済区間
 - 指定後の整備済区間
 - 未整備区間
 - うち外側線外側空間の不足
 - ⋯ うち外側線外側空間1.0m未満
 - ゲートウェイ

地理院タイル <http://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>

※「整備済」とは、ナショナルサイクルルート指定要件の「走行環境の安全性」に定める評価基準を満たすよう整備されていることを示す

走行環境等の整備状況(太平洋岸自転車道(静岡県))



整備前 **整備後**

矢羽根型路面表示を標準規格に変更
(県道伊東大仁線 伊豆の国市)

整備前 **整備後**

空間再配分により自転車専用通帯を整備
(県道浜松環状線 浜松市)

整備前 **整備後**

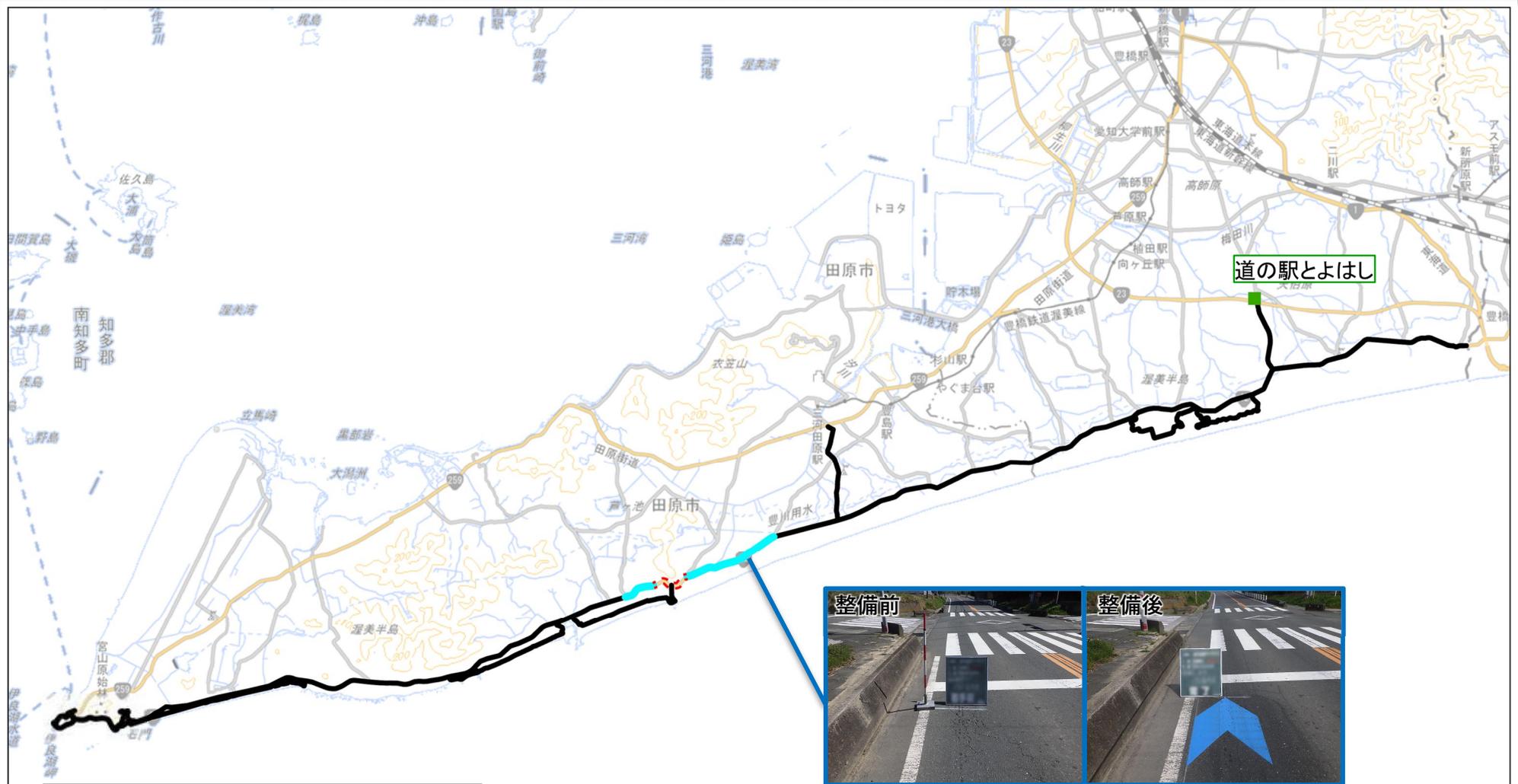
路肩の幅員を確保
(国道136号 東伊豆町)

- (凡例)
- 指定時の整備済区間
 - 指定後の整備済区間
 - 未整備区間
 - うち外側線外側空間の不足
 - === うち外側線外側空間1.0m未満
 - ゲートウェイ

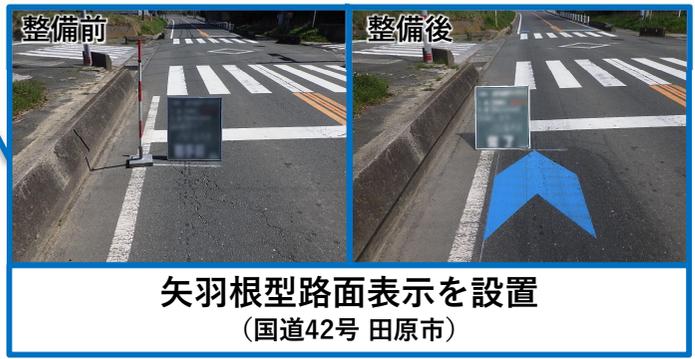
地理院タイル: <http://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>

※「整備済」とは、ナショナルサイクルルート指定要件の「走行環境の安全性」に定める評価基準を満たすよう整備されていることを示す

走行環境等の整備状況(太平洋岸自転車道(愛知県))



- (凡例)
- 指定時の整備済区間
 - 指定後の整備済区間
 - 未整備区間
 - うち外側線外側空間の不足
 - うち外側線外側空間1.0m未満
 - ゲートウェイ

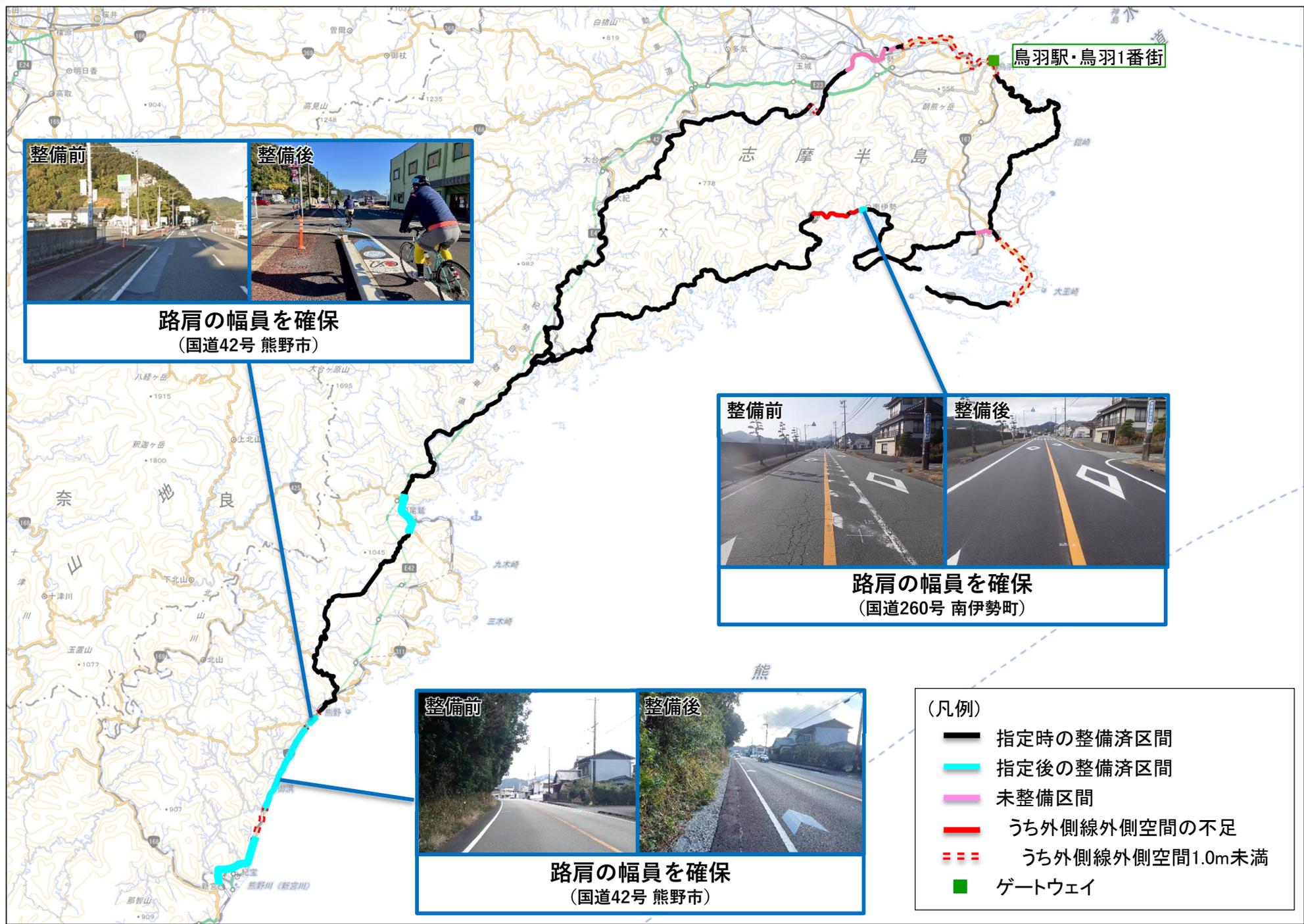


矢羽根型路面表示を設置
(国道42号 田原市)

地理院タイル: <http://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>

※「整備済」とは、ナショナルサイクルルート指定要件の「走行環境の安全性」に定める評価基準を満たすよう整備されていることを示す

走行環境等の整備状況(太平洋岸自転車道(三重県))



鳥羽駅・鳥羽1番街



路肩の幅員を確保
(国道42号 熊野市)



路肩の幅員を確保
(国道260号 南伊勢町)



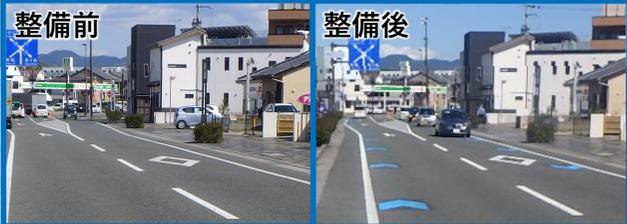
路肩の幅員を確保
(国道42号 熊野市)

- (凡例)
- 指定時の整備済区間
 - 指定後の整備済区間
 - 未整備区間
 - うち外側線外側空間の不足
 - - - うち外側線外側空間1.0m未満
 - ゲートウェイ

走行環境等の整備状況(太平洋岸自転車道(和歌山県))



和歌山市中央卸売市場
総合食品センター(わかやままるしえ)



矢羽根型路面表示を設置
(県道田辺龍神線 田辺市)

南紀白浜空港 &
Shirahama Key Terrace Hotel Seamore

- (凡例)
- 指定時の整備済区間
 - 指定後の整備済区間
 - 未整備区間
 - うち外側線外側空間の不足
 - - - うち外側線外側空間1.0m未満
 - ゲートウェイ

地理院タイル: <http://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>

※「整備済」は、ナショナルサイクルルート指定要件の「走行環境の安全性」に定める評価基準を満たすよう整備されていることを示す



受入環境

ゲートウェイ・サイクルステーション



太平洋岸
ゲートウェイを追加設定



しまなみ
レンタサイクルターミナルを
駅前に移転



トカチ
ゲートウェイを新たに開設



太平洋岸
ステーションを新たに整備

サイクリング拠点の整備・設定



自転車グッズの
自動販売機



パンク修理キットを
自動販売機で販売

イベント



富山湾
ルートを活かした
サイクリングイベント
(富山湾岸サイクリング)



霞ヶ浦
ルートを活かしたサイクリングイベント
沿線の特産品をエイドステーションで提供
(いばらきK1ライド)

トラブル対応



トカチ

道路パトロールカー
を活用した
サイクリスト・応援カー
の導入



トカチ

メンテナンスブック
の作成・配布

移動環境



太平洋岸

サイクルバス導入
に向けた実証実験



太平洋岸

サイクルトレインの本格運行



霞ヶ浦

遊覧船によるサイクルーズの運航

情報発信

ホームページ・マップ等



しまなみ

サイクリングアプリによる
ルートマップや周辺観光スポット
等の情報提供

ルートのPR



しまなみ

海外の旅行会社・
メディア・インフレン
サーを招聘し、ファ
ムツアーを実施

ナショナルサイクルルートの情報発信に関する取組



- ナショナルサイクルルートの国内外のPRに向けて、自転車活用推進本部ホームページやチラシ等による情報発信のほか、各種イベントに動画やパネル等のコンテンツを出展
- JNTOホームページ等、行政機関においても海外向けに情報発信を実施
- 今年度、既存6ルートで連携したデジタルスタンプラリーの実施

各種媒体における情報発信・周知



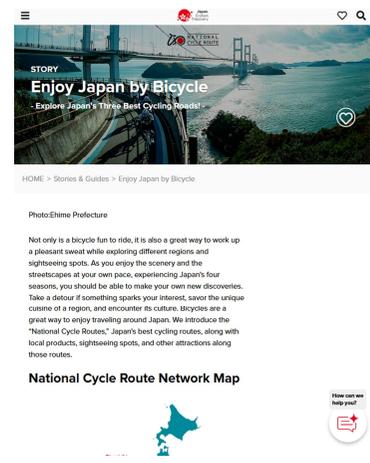
自転車活用推進本部ホームページ(多言語対応)



チラシ



パネル



日本政府観光局(JNTO)ホームページ



政府オンライン・マガジン(「HIGHLIGHTING Japan」)

国際会議等の各種イベントでの情報発信・周知



日本ブース(Velo-city2025Gdansk)(R7.6)



サイクルドリームフェスタ(R7.5)



功績者表彰式でのマスコミ向けPR(R7.5)

ルート間の連携による取組



6ルート連携によるデジタルスタンプラリーの実施 (R7.4~R8.3)

(出典: ((株)ナビタイムジャパン ホームページ))